

事例 30 治山事業による公共施設の保全

(東北森林管理局 秋田森林管理署湯沢支署)



- 秋田県湯沢市(ゆざわし) 矢込沢(やこみさわ)国有林
- (左) 土砂流出時の溪流内の様子(平成30年8月)
- (右) 完成後の様子(令和4年11月)

秋田森林管理署湯沢支署では、平成30年の豪雨により山地から流出した土砂等がJR奥羽本線に押し寄せた箇所において、JRによる復旧工事等と連携しつつ、治山事業を進めてきました。

令和元年度から令和4年度にかけて、土砂流出防備保安林としての機能を高め再び土砂等が流出しないようにするため、治山ダム4基を施工し、JR奥羽本線や国道の保全を図りました。

工事完了後には、完成した治山ダムをドローンにより撮影し、地元自治体へ施工状況を説明するとともに、同支署のホームページに掲載して、治山事業に対する地域の理解向上に努めました。